

※()内は1人あたり額。

予算総額 45億8,719万5千円(589,690円)

経常収入 39億8,285万5千円(512,001円)

経常支出 43億1,237万4千円(554,361円)

差引額 ▲3億2,951万9千円(▲42,360円)

経常外収入 6億434万円(77,689円)

調整保険料収入 5,970万円
繰越金 6,000万円
繰入金 3億8,863万2千円
国庫補助金収入 4千円
財政調整事業交付金 9,600万円
不用財産等売却代 2千円
補助金等追加収入 2千円

その他 1,885万5千円(2,424円)

国庫負担金収入や利子収入など。

保険料収入 39億6400万円(509,577円)

毎月の給料や賞与から納めていただく、健保組合の主たる財源。



予算基礎数値

被保険者数	7,779人
平均標準報酬月額	371,244円
保険料率	事業主 52.25/1000
	被保険者 35.75/1000
合計	88.00/1000

経常収支差引額

▲3億2,951万9千円
(▲42,360円)

臨時的な収支を除いた単年度の実質的な財政状況を示す。

収入

保険料収入減収、納付金は減少するも負担重く

経常赤字

3億2,951万9千円

経常外支出 2億7,482万1千円(35,329円)

調整保険料還付金 2万円
営繕費 1,510万円
財政調整事業拠出金 5,970万円
補助金等返還金支出 1千円
予備費 2億円

その他 482万円(620円)

連合会費など。

保健事業費 1億2,221万2千円(15,711円)

みなさんの健康づくりに役立てていただくための事業を賄う費用。

納付金 19億4,340万円(249,826円)

高齢者医療を支えるための財源として健保組合が負担しなければならない費用。

保険給付費 22億2,198万円(285,638円)

みなさんが受けた医療や、出産、死亡、休業に対する給付を賄う費用。

事務費 1,996万2千円(2,566円)

健保組合の事務費用。

保険料収入の
3.1%に相当

保険料収入の
49.0%に相当

保険料収入の
56.1%に相当

支出

平成29年度予算●介護保険

予算基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	3,921人
平均標準報酬月額	413,861円
保険料率	事業主 7.5/1000
	被保険者 7.5/1000
合計	15.0/1000



収入

介護保険収入	3億8,900万円
繰入金	1,939万5千円
国庫補助金受入	1千円
雑収入	4千円
合計	4億840万円

支出

介護納付金	4億240万円
介護保険料還付金	100万円
予備費	500万円
合計	4億840万円

予算のポイント

被保険者数の減少等で保険料減収

保険料収入は、保険料率を前年度と同率とし、保険料算出の基礎となる被保険者数や標準報酬月額が前年度を下回る見込みから、前年度予算より4,000万円の減収となる見込みです。

保険給付費は前年度比1千万円増

保険給付費は、過去の実績等を勘案して算出したところ、被保険者1人あたりで前年度比4,859円の増加、総額で前年度比1,225万円の増加となる見込みです。

前期高齢者納付金等が減少

納付金のうち、前期高齢者納付金は前年度より5,900万円の減少となる見込みであるものの、後期高齢者支援金は算出方法の変更などにより、前年度より1,710万円の増加となる見込みです。なお、退職者給付拠出金は前年度より1,010万円減少する見込みで、納付金全体では、前年度より5,200万円の減少となる見込みです。

経常赤字額は前年度より拡大

納付金の負担はやや減少する見込みであるものの、保険料の減収や保険給付費の負担増により、健保組合の実質的な財政状況を示す経常収支では3億2,951万9千円の赤字となり、その赤字額は前年度より3,000万円以上の増加となる見込みです。なお、収入の不足分については、前年度からの繰越金や積立金からの繰り入れなどによって補う予定です。